

イヌワシのからだ

かんさつした日

天気

20 年 月 日

※ 動物に エサをやったり おどろかしたりしないでね！

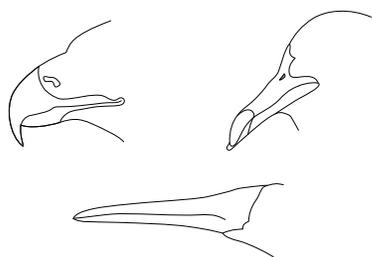
◆ イヌワシをよく見て、○ をつけよう！

フライングケージには、いろいろな種類のワシがいます。

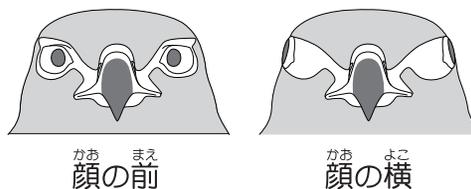
看板を見て、イヌワシを見分けよう！

イヌワシは、くちばしが灰色で、先の方が黒いのが特徴だよ。

くちばしは、どんなかたち？



目は、どこにある？

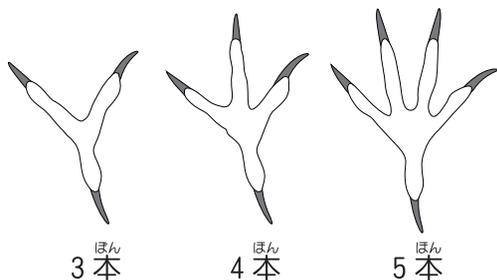


体は、なに色？

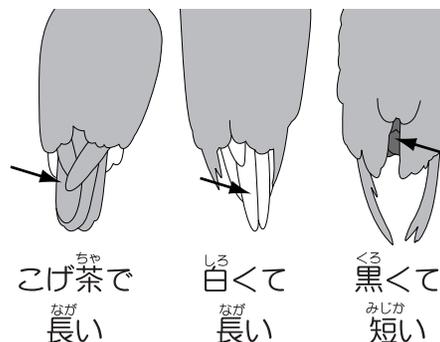


足の指は、なん本？

フェンスにとまっているイヌワシを
下から見ると、足を見やすいよ。



尾羽は、どれ？



イヌワシをよく見て、スケッチを完成させよう！

目の上にも特徴があるよ

足の羽は、どこまで生えているかな？

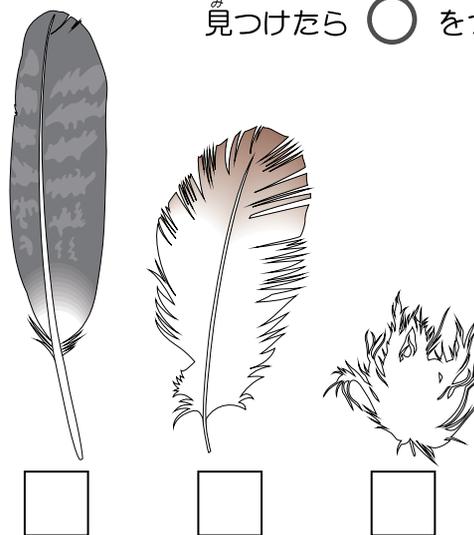
地面・枝はこのあたり

ひろげた翼のかたちは、どれ？



地面におちている羽を見つけよう

見つけたら ○ をつけよう



イヌワシのからだ <解説>

イヌワシ (タカ目タカ科)

北半球に広く分布し、日本では北海道、本州、四国、九州の山地に生息します。草原や伐採地でノウサギなどの小～中型哺乳類や鳥類、ヘビなどを狩ります。体重は3.2～5.5 kg、翼を広げると(翼開長) 2 mほどの大きさになる、大型のワシです。

くちばし

根元付近は灰色で、先に向かって黒くなります。かぎ状の先端は、獲物の肉をひきちぎるのに適しています。



からだの色

全体的にこげ茶色です。成鳥はこれに加えて、後頭部が少し黄色がっています。この特徴から英語では“Golden Eagle”と呼ばれます。

オスとメスの違い

他のワシやフクロウなどの猛禽と同じく、メスの方が大きめです。繁殖期(冬)にオスメス2羽でよく一緒にいます。比べて見てみよう!



オス メス

目の位置

獲物との距離を正確に知るために、目は前を向いてついています。



足の指

指は4本あります(前3本、後ろ1本)。第1指(親指)は後ろを向いており、前を向いた他の指と一緒に曲げることで、獲物をしっかりとつかみます。



みぎあし 右足

つばさ 翼

ながく、幅の広いかたちです。飛ぶときは翼の先が指を開くように広がります。上昇気流を上手にとらえて、長時間羽ばたかずに飛ぶことができます。



おぼね 尾羽

飛んでいるときは、開いたり閉じたりして舵取りに使います。また木や枝に止まる際は大きく広げ、ブレーキにも使います。成鳥の尾羽は根元までこげ茶色ですが、幼鳥の尾羽は根元が白く、成長するにつれ、徐々にこげ茶色に変わります。



わかどり おぼね
若鳥の尾羽

はね 羽のかたち

鳥の羽は大まかに正羽と綿羽に分けられます。イヌワシの羽は大きく、その特徴が分かりやすいので、観察してみてください。

①**正羽** 軸（羽軸）があり、薄い板のようなかたちの羽です。翼や体の表面の羽の大部分が正羽です。「風切り羽」と「体羽」はその代表です。

・風切り羽

翼に生える長くて丈夫な羽です。羽軸の左右で羽の幅がちがいます。翼を広げるときに幅の狭い方が翼の先端側、広い方がつけ根側を向くように並びます。



・体羽

体の表面を覆う羽です。羽軸は羽の真ん中を通ります。体を雨や汚れなどから保護し、体形を風の抵抗をうけにくい流線形に整えます。

②**綿羽**

正羽の下層に生える、柔らかい綿のような羽です。空気をよく含むので、保温性に優れ、体温維持に役立ちます。

